

議会報告「市民との意見交換会」記録

日 時：令和元年 11 月 21 日（木） 13：30～15：00

場 所：議員協議会室

対象団体：加西市文化連盟（11 名）

担 当：総務常任委員会

【報告及び意見交換】

（第 1 部 議会報告）

質問、要望は特になし

（第 2 部 意見交換）

[各協会からの活動説明・意見]

●囲碁協会 副会長

・春と秋に加西囲碁大会を開催している。

囲碁協会とは別で北部、南部、善防公民館にて研修会・対局を開催している。

・後継者不足で困っている→いつまで続けられるか？という現状である。

・北条高校に月一度で開催できないか？と提案した。

→先生が対応する余裕を確保できない。※先生の数が減っている。

・文化を推進するのであれば加西市で人集めて場を提供してほしい。

●美術家協会 副会長

・春（3月）に総会を行なっている。

・美術家協会展（7月）：アスティアかさいにて年に1回、日本画・洋画・写真・書道などの作品発表を行っている。

・加西市美術公募展：運営委員として手伝いをしている。（作品募集・作品受付・審査・展示・搬出）

団体育成費をもらっているが賞の商品経費になっている。昼ごはん代や運営委員にもお金を出せない。会費の中から支払っている。

・選抜美術公募展を出すのも会員が行っている。（市役所は誰も来ない）

→車で作品の運搬をしてもらえるだけで良い。

・若い人が少なくて運営を行うのも難しくなっている。（後継者不足）

・年末に反省会を行っている

●茶道協会 理事

- ・全員茶会（春に開催） フラワーセンターでイベント（お茶を提供）収益を寄付している。
- ・子供茶道 宇仁地区、日吉地区、東播磨に月1度の指導にしている。

高齢化でいつまで継続できるか不安である。

- ・全てボランティアで行っている。

●生け花協会

- ・子供の生け花教室（善防公民館で開催）月に1度行っている。
- ・市役所の玄関花を当番制・ボランティアで行っている。

●文芸協会

- ・川柳・短歌・俳句で組織している。

- ・メンバーは80名

- ・県のふれあいの祭典 短歌祭、令和元年文化祭で議員の方々にお世話になった。

・以前はマイクロバスで会場まで向かっていたが、. . .免許証返納などで行くのが困難事故があってはいけない。→ガソリン代だけで行けるようになると嬉しい。

●音楽協会 理事

- ・10団体（9団体コーラス、1団体吹奏楽）

- ・参加者（市内全域）：240名

- ・団体によっては人数が減ってきている。

（人数が増えている団体もある）

- ・コーラス：月に2回、週1回と練習している団体がある。

声を出すことで健康、ワイワイ楽しい。

- ・介護施設に尋ねてコーラスの発表する。

・市民会館文化ホールの階段が高齢者には厳しい（コミセンのエレベーターは距離がある）せめてエレベーターの案内があってはどうか？また出演者の貴重品を置くロッカーがほしい。

- ・ふるさと芸術文化支援事業

HP や SNS でアピールしてもらえないか。

「なぜアステリア加西の交流プラザではなく多目的ホールでやっているの？」と聞かれる。

→これまで観客があったが減っている。

●吹奏楽団

- ・楽器が古くなっている。購入するにもお金がかかる。
- ・発表する場をもらっている。若い世代に入ってもらうため泉小学校で鼓笛隊のクラブ活動を始めている。北条高校の吹奏楽の指揮者をしている。
- ・中学校の新任の先生の指導・練習を行なっている。

●おやこ劇場

- ・生の舞台を親子で鑑賞してもらう団体
 - ・スタッフ：10名
 - ・会費では賄えない。予算がない。
- イエローレシートキャンペーンの還元金でまかなっている。
- ・集客に困っている。
 - ・12月すずきつばさコンサートを開催している。
 - ・チケットを小学校、保育園など配っている。
 - ・劇を近くで観ることができる。(親と子供が感動を共にする)
 - ・後継者がいない。

●芸能協会

- ・7つの団体で運営(民謡歌踊り・腹話術会など)
- ・出演の回数は増えているが活動する人は減っている。
- ・現在160人ほど参加している。
- ・行事として芸術祭、東播磨民謡大会がある。
- ・練習が夜で運転していくのが危ない。
- ・後継者問題：小学校・中学校で見てもらっていたが結果に繋がっていない。

●茶華道協会 理事長

- ・1番の課題は活動資金が足りない。
- ・後継者がいない。
- ・文化連盟の補助金：平成7年185.1万円、令和元年85.7万円(平成15年から)

●芸能協会 会長

- ・移動(マイクロバス)の個々の負担額が増えている。
- 自家用車で行くのも危ない。

[委員から意見・質問]

●高齢化の中で後継者不足が起こっているが地道に活動してくださっている皆様の話を聞くことができよかった。内容を整理して行政に働きかけできる部分はみんなで力を合わせて取り組んでいく。

●芸能協会の活動について有難い気持ちで一杯である。市民に活動を理解してもらえれば、さらに盛り上がる。楽器を購入するのも困難である。議会でも皆さんの声を共通認識として取り入れて活動していく。皆さんは育成者として頑張っていたきたい。

[加西市文化連盟 意見]

●茶道協会 理事

・加西市のこども茶道教室には30名近く人が来ている。

→いずみこども園になってから教室がなくなってしまうのか？

委員長：今までやってきたことがやりにくくなるかもしれない。教育委員会に届けていきたい。

副委員長：統合することで最後になる。文化の伝承のところで続けてお願いしたい。

●茶華道協会 理事長

・予算を獲得してほしい。

議長：他の地域と合併するなどして続けていく必要があると考える。

●音楽協会

・若手音楽家の支援。若い子を育てていく。HP・SNSでの周知する必要がある。

委員：小野市は第三セクター（エクラ）が支援している。加西市としても市民へのアピールに力を入れる必要がある。

●芸能協会 会長

・全く触れ合う機会がない人（子供）が知る機会を作りたい。

・教育委員会の入り口の敷居が高い。

議長：加西市は播磨国風土記の関係で能狂言にお金を使っている。超一流の方に教えてもらうのにお金がかかる。それとは別に地域に根ざした文化を継承していくことも必要である。